

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	職員課担当課長	能條 裕子
総務-13	実施事業	職員研修事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 職員課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 総務課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員
意図	法令や社会規範を遵守するとともに、新しい時代の創造に向け、チャレンジ精神あふれる職員を育成するため。
効果	市民から信頼され、社会情勢と市民ニーズに迅速かつ適確に対応できる職員が育成される。

2 平成28年度に実施した事業の概要

「職員研修制度ガイドブック(ホップ・ステップかまくら)」に沿って研修を実施した。「職員研修制度ガイドブック(ホップ・ステップかまくら)」に沿って研修実施のための出張旅費を支出した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	1,342人		1,356人		1,354人			
事業費等基礎データ								
運営資源状況	決算値(千円)	7,882	9,026		当初予算(千円)	16,451		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	184	600		その他	165		
	一般財源	7,698	8,426		一般財源	16,286		
事業経費運営	人員配置数	1.0	2.0		人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	8,012	15,970		人件費(千円)	12,170		
	総事業費(千円)	15,894	24,996		総事業費(千円)	28,621		
	市民1人当りの経費(円)	90	141		市民1人当りの経費(円)	162		
	対象者1人当りの経費(円)	11,844	22,847		対象者1人当りの経費(円)	21,138		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-2. 受益者はいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	鎌倉市職員として求める職員像に向けた人材育成を目指した研修の更なる充実が必要である。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	行財政運営を担う職員のレベル向上を図る取組は、常に必要であり、今後とも事業を充実させていく。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民を受益者と見立てたサービスの提供者である「求められる職員像」の形成に向けた人材育成方法として、職員研修は重要な位置を占めている。従って、事業の縮小又は廃止、他の事業度統合することも困難であり、むしろ多様化する市民ニーズへの的確な対応のため、事業の拡大が必要と考える。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	これまでの職階に応じた研修を継続的に実施するとともに、その時々々の社会情勢に応じた研修が常に求められている。また、他課等で実施している各職員を対象としたプロジェクトとの連携等についても整理が必要である。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	接遇力及び情報セキュリティ意識を高めるための意識改革研修等を実施した。子育て、介護及びワークライフバランス等、働き方が多様化する職員の労務管理に柔軟に対応することを目的とした管理職研修を行った。また、関連課との連携において、研修の整理を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	不適切な事務処理を受けて、法令や社会規範を遵守し、市民から信頼される職員を育成するための研修の実施が求められている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	各種研修受講者						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値	2,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0				
	実績値	2,958.0	3,097.0	3,106.0							
	達成率	118.3%	88.5%	88.7%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	職員一人ひとりの意識改革及び知識・資質の向上を図るため、今後とも研修事業を充実させていく。										